

●中聖牛4基本材による基盤組み上がる 1月29日、2月5日6日11日12日の5日間

4日間で参加いただいた方は大人70人子ども26人という集計になっています。ちなみに昨年は竹蛇籠製作27本に140人 中聖牛組立てに40人でした。約3か月間に子どもは0人でした。大きく様変わりになっています。大人ばかりだと今日どれくらいできたのかが気がかりで、数量の出来具合に気が取られ、ゆとりや気のゆるみなどが忘れ去られたものでした。よく職場で休憩も仕事のうちと言われてきたのですが、その通りだと思います。気分転換になりますし、できれば眺めることもできて、学びあう場でもあるのです。子どもたちは一生懸命遊び、遊び飽きたら大人の手伝いに精を出し、それが大人のほうに元気を供給してくれました。何よりも今の子どもたちは、誰から干渉されることなく走りまわられる場所などないのですがそれが解放されたのですからきっと気分爽快だったはず。きっとこのすごい経験は人生の大きなものになると思います。両親の理解があつてよかったと思います。ありがとうございました。

●木津川稀少種植生調査管理業務のうち刈草運びだし作業 2日14日

今年はハンマーモアの修理に長い時間が必要だったので11月と12月の2か月間除草作業は休業状態になりました。刈り取りはかなりはかどりましたが、刈り草集めは集草機が限定使用なので人海戦術が必要です。少人数では元気が出ませんから、おのずとやる気が弱くなります。仕方がないことなのです。年と月が替わって本格的に取り組めたのは2月からでした。それでも参加できる人数が少なく能率が上がらず大変な苦勞をしていただきました。本当にご苦勞様です。2月14日現在16,000㎡のうち13,000㎡まで集草できました。一方中聖牛の組立ての大仕事は最後の追い込みのみとなりましたので、集中して期日には仕上げられるのではないかと思います。

●竹サインペン試作出来上がる

先週に制作に取り組んでいただいた竹島さんが竹サインペンを作り上げてきていただきました。鉛筆の芯の硬さや太さなどまだまだ検討しなければならない課題は沢山ありますがいずれにしても試作品が出来上がったので、これから明らかになった課題の解決のため工夫がされるのです。どなたかご一緒に参加いただければ有難いものです。好奇心をお持ちの皆さんのお越しをお待ちしています。



●日本フィランソロピー協会から寄付の案内が届く 必要書類の提出要請

先日これまで聞いたことも見たこともない日本フィランソロピー協会から一通のメールが届きました。それは環境活動を行っている団体に対して活動資金の寄付をするので、申請書を提出してくださいとの内容でした。私達里山の会は自主運営なので財政確保に苦勞をしております。これまで25年間最も苦しかったのが財政問題ですので交付金や助成金の確保に非常に苦心してきました。今回のように資金を援助しますという申し出など一度もなかったことなので非常に驚きました。事務局会議に活動支援金を申請してくださいと意向申し出について報告すると全員賛成で申請することになりました。寄付金を受けて行うイベントは①親子花見乗船体験②カヌー体験③里山の農園活動④イタセンパラの復旧を目指す4事業を対象の申請することに決まりました。無事に審査が通ることを祈っています。

●木津川稀少種植生調査管理業務の完了監査日 3月25日(水) 午前10時 淀川河川事務所 里山の会は、国交省近畿地方整備局認定の河川協力団体として認定されているので木津川稀少種植生調査管理業務が受注できているのですが2022年度は40カ所16000㎡で2月15日現在刈草の運び出しは12993㎡すみ約81%が終わっています。残りは18カ所3007㎡の19%になりました。年度内には完了できると予想しています。ところで話は変わりますが国交省淀川河川事務所の担当職員

が変わられたのが年度初めでした。そして最近2月初めにも再度担当職員が変更になりました。業務内容に大きな変化は生じないと思われますが少し疑問に思います。今年の完了検査は3月25日に実施と連絡がありました。

●近畿建設協会 20 年度事業報告 3 月 23 日(火) 13 時 OMM ビル

一昨年近畿建設協会にカヌー教室の開催でお世話になりました2月16日の事務局会議で助成金申請を提出することに決まりました。具体的には里山農園にトイレ、や草刈り機の5台の更新、お花畑への取組み支援、果樹園への取組み、苗木購入支援などが要望として提案されました。そのほかご提案があればお知らせをお願いします。いずれにしてもダメでもともとだとの位置付けで申請したいと思いますので気軽にご提案を下さい。

●コロナウイルス感染 国中に広がる 京都、大阪、兵庫 3 県知事緊急事態宣言について知事会議開催

16日正午現在、京田辺市の感染者累計は2399人で減少の気配無く、ますます増加の流れが強くなっています。一部で感染拡大のスピードはピークを過ぎたともいわれていますが第6波においては簡単に防止されていると報道からは読み取れません。気候の変化も続きますので体に気をつけて行きましょう。

●篠原さん中聖牛の取組、動画を披露

2月11日これまで撮影された木津川20km地点で撮影された中聖牛の取組みの動画を披露していただきました。枯れ草が広く広がる木津川の風景が良くわかりました。忙しい作業の中こまめに撮影し、編集してバックミュージックまで入れて、行き届いた内容でした。

●中聖牛の木材組上げ4基とも完成 組上げのための19日20日の予定作業が無くなりましたので中止と致します。ご参加を予定されておられた方々にはご注意をお願いします。これまでの経過から2月12日に25名と多くの方々が参集くださって結線に取り組んでいただき残り3基の中聖牛すべてを終えていただきました。予想を超える皆さんが見よう見まねでの結線作業が進みました。有難うございました。多くの皆さんが沢山技術を学んでくださって、講習会としては大きな成果を積み上げたことになります。特に子どもたちが継続して参加して手伝ってくれて随分と能率を上げることができたと高い評価がありました。寒い風が吹きすさびましたが子どもは風の子と言われた通りの元気を表してくれて大人が元気をもらったようでした。

残すところは栗石入れで完成となります。昨年は3基27本でしたが今年は4基36本の竹蛇籠です。のでより多くの人手が必要です。皆さんのお力添えをお願いいたします。

中聖牛の完成式・竣工式 要領

2月26日(土) 集合9時 開橋100人募集来場者には昼食弁当用意

2月27日(日) スタッフ集合8時30分 一般集合9時

開会挨拶	9時30分	
第1回作業開始	10時00分	石の投入
式典開始開会挨拶	11時05分	竹炭着火
来賓挨拶	11時10分	
経過報告	11時20分	
昆布茶で乾杯	11時30分	
余興	11時32分	焚火を囲んで 竹炭披露
集合写真	11時45分	
閉会挨拶	11時50分	

場所 木津川 精華町 開橋上流 600m

お土産 木酢液少々 竹炭希望者のみ(少々)

実演 竹炭生産